

令和2年12月17日

宗像市議会  
議長 神谷 建一 様

予算第1特別委員会  
委員長 井浦 潤也

## 委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を報告します。

記

### 第101号議案 令和2年度宗像市一般会計補正予算（第8号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4億602万4千円を増額し、485億5,433万2千円とする。また、繰越明許費、債務負担行為、地方債の補正を行う。

#### 【審査内容】

明らかになった主な事項は、次のとおり。

#### 1 歳入の主なもの

法人市民税は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による減収を見込み、3,000万円減額する。固定資産税は、新築戸建ての増により5,000万円増額し、都市計画税も、同様の理由により600万円増額する。

#### 2 歳出の主なもの

##### (1) 人件費の増額（6,101万3千円）

人事院の職員給与の改定に関する勧告を受け、職員の期末手当等を減額する。また、鳥インフルエンザの防疫措置に伴う職員の時間外勤務手当等を増額する。

##### (2) 総務一般事務費の増額（1,115万8千円）

公文書の電子化による事務の効率化、保管文書の削減等を推進するため、公文書電子化業務委託料を計上する。実施期間を令和3年度末までとし、併せて繰越明許費を計上する。

##### (3) 市民安全対策事業費の増額（500万円）

自治会管理の防犯灯の自立柱のうち、市職員による一次調査において倒壊などの危険性が疑われるものについて事業者による二次調査を実施するため、防犯灯支柱点検業務委託料を計上する。調査期間を4カ月程度と見込み、併せて繰越明許費を計上する。

##### (4) 財政調整基金積立金の減額（2億8,598万7千円）

財源調整のため、減額する。

##### (5) 地域情報化事業費の増額（5,400万円）

国庫補助金及び市債を財源に、コミュニティ・センター及び市民体育館の公衆無線LAN整備委託料を計上する。機器の調達等に時間を要するため、併せて繰越明許費を計上する。

(6) 保健一般事務費の増額（825万円）

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に必要なアルコール消毒薬やマスク等を購入し、冬場の流行に備える。

(7) 畜産総合対策事業費の計上（1,024万3千円）

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う和牛の価格低迷を受け、畜産業者への経済対策として交付される県の補助金を、市内1事業者に対し支給する。

(8) 鳥インフルエンザ対策事業費の計上（310万円）

11月25日に市内で発生した高病原性鳥インフルエンザに対処するための経費を計上する。

(9) 企業誘致・企業連携事業費の増額（1億500万円）

歳入で企業立地促進基金を繰り入れ、企業立地促進補助金をデリカフーズの野菜カット工場に対し1億円、f a b b i t宗像のレンタルオフィスに対し500万円を交付する。

(10) 観光推進事業費の増額（1,900万円）

新型コロナウイルス感染症対策に取り組む宿泊事業者を対象に、新しい生活様式に対応した宿泊環境やワーケーションの受入れ環境の整備、PRに係る経費を支援するため、宿泊施設受入環境強化事業補助金1,200万円を計上する。また、宿泊を促進するための業務委託料700万円を計上する。財源は、県の宿泊税交付金を全額充当する。

(11) 教育振興費の増額（395万円）

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う市立学校の修学旅行キャンセル料の発生に備え、保護者に代わって対応するための補助金を計上する。

(12) 学校運営費、施設改修事業費等の増額

令和3年度の学級編成、教室調整において、特別支援学級の教室数が不足する見込みであるため、小学校施設維持・補修費を3,000万円、中学校施設改修事業費を2,100万円増額する。また、小学校費、中学校費の学校運営費において備品購入費をそれぞれ増額する。

(13) 体育施設改修事業費の増額（2,150万円）

中央公園の野球場改修に係る設計委託料1,250万円、玄海地区の運動広場野球場の外野フェンス改修に係る工事請負費900万円を増額し、併せて繰越明許費を計上する。

### 3 繰越明許費

年度末までに業務が完了しない7件を追加する。

### 4 債務負担行為

来年度当初に業務開始が必要なもので、今年度中に入札等が必要なもの、指定管理に係る複数年契約など43件を追加し、1件を変更する。このうち、田熊43号線・自由ヶ丘曲線側溝改良工事費については、公共工事の発注時期の平準化を図るため、ゼロ市債を活用する。

### 5 地方債

借入限度額を5,570万円増額し、21億1,070万円に変更する。

## 【意見】

### (賛成意見)

- ・鳥インフルエンザの発生は、早期対応による短期間での収束と発生農家を含めた関係事業者へのきめ細かい支援を評価する。法人市民税の現状などから、新型コロナウイルス感染症の影響により市民生活が厳しい状況にあることを実感した。中小事業者に対しては、経営状況の把握に努め、廃業等に至る前の支援に知恵をしぼってほしい。また、農業者への支援が行き届いているか、市としても把握し、きめ細かく対応してほしい。新型コロナウイルス感染症の急激な広がりに対し、今後の準備や支援について再度よく議論してほしい。

- ・鳥インフルエンザの防疫措置では、前例のない災害に対し、迅速に対応することで封じ込めに成功したことに敬意を表す。商工費に関しては、宿泊業への支援が計上されているが、飲食業などへの支援がなく、新型コロナウイルス感染症の第3波到来により忘年会・新年会が自粛される中、国、県は対策を打ち出しており、市においても追加の支援を検討してほしい。商業者にとって年の瀬は、大事な区切りであり、しっかりと状況を見て次の支援につなげてほしい。
- ・鳥インフルエンザの対応を評価する。公文書電子化業務は、今後しっかりと進め、業務の効率化に生かしてほしい。GIGAスクール構想や公衆無線LANの整備など、新型コロナウイルス感染症の拡大に備えた環境整備が、一日も早く整うことを期待する。
- ・鳥インフルエンザの対応については、住民の一人として感謝する。市営住宅の老朽化への対応は、入居者に高齢者が多いことも考慮し、アンケートの実施等により住民が納得する進め方をしてほしい。修学旅行キャンセル料補助金の計上については、ウィズコロナ、アフターコロナの中でも、子どもたちが夢を持って取り組むことを支援するために必要な措置であり、感謝する。
- ・新型コロナウイルス感染症対策については、早い段階で、小規模事業者への支援を素早く行ったことに対し、市民から感謝の声を多く聞いている。しかしながら、感染症の状況は、先が見えず、今後も思わぬところで問題が生じる可能性がある。その場合は、ちゅうちょすることなく、臨時会を開催してでも対処してほしい。
- ・建設工事に対し、初めて債務負担行為によるゼロ市債を活用した英断を評価する。市民安全対策事業費では、防犯灯の支柱の倒壊などによる事故の危険性を速やかに察知し、早急に調査を開始したことは、安全・安心のまちづくりにつながると考える。このような事業がスマートに実施され、意義ある成果となることを期待する。

#### 【審査結果】

委員会は、全員賛成で原案のとおり可決した。